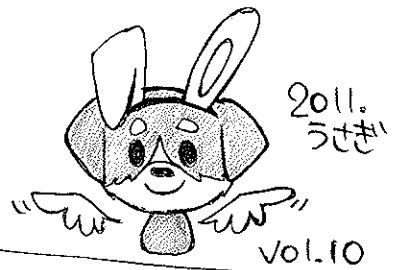


わんにゃん新聞



鏡
も
ラ
ッ



明けましておめでとうございます。
今年も元気に皆様をお迎え致しますのでよろしくお願い致します！
お正月、食べすぎちゃった!!なんて事ないですか？
人間は食べても大丈夫だけど私たち、犬・猫にとっては
食べたら毒なものはたくさんありますので注意して下さい。
今回のテーマは『中毒』です。

危険がいっぱい

文責：看護師 古賀



散歩中の道端、公園、または、観賞用の植物として家にはえている植物も、
実は、犬・猫にとっては危険なものがあります。

猫は好奇心が旺盛なこともあり、

屋外では除草剤／殺鼠剤や屋内では漂白剤や匂いの強い食品と一緒にあった乾燥剤を嚙ったり、
スルメなどの塩分の多い乾物類を食べたりして中毒を起こします。

この他にも観葉植物や庭木、家庭の中では、タバコや洗剤などの誤飲や

チョコレート菓子などを食べさせることで中毒にさせてしまうケースも多いです。

一般的に、人間の食べ物は、犬や猫にとって塩分を取りすぎることにもなりますので

健康管理を考えると好ましくはありません。可愛いからこそ悪癖をつけないことも大切です。



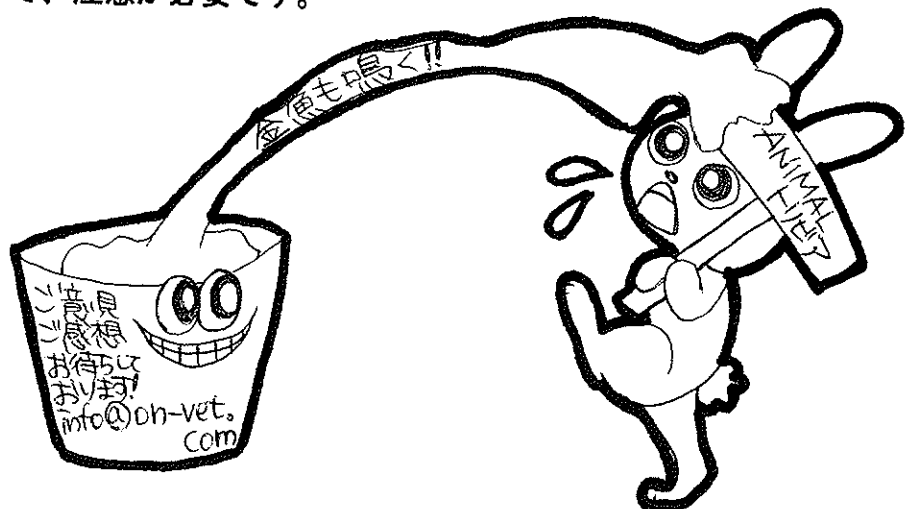
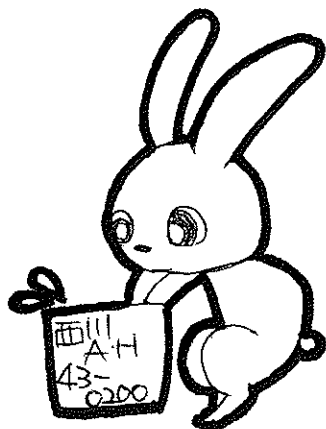
中毒症状とは？

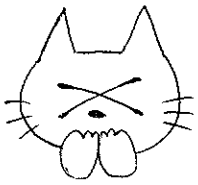


一般的に、突然激しい嘔吐や下痢、ケイレン発作が起こり、

虚脱や昏睡の状態になって、動けなくなったり、死んでしまうことがあります。

また、口から泡を吹いたりすることもあります。これらの症状はすべて中毒に限らず、
ほかの病気でも起こることがあるので、注意が必要です。





食べられないもの



人が普通に食べているものでも、
ワンちゃん、ネコちゃんにとっては良くないものたくさんあります。

・赤血球を破壊して、中毒死を起こすこともあります

ネギ類(ネギ・タマネギ・ニラ・ニンニク)

煮ても焼いても毒性は変わらず、それらの汁でも中毒を起こすので注意が必要です。

・カフェインがはいったもの。中毒死することがあります。

チョコレート、コーヒー、コーラ、紅茶、お茶

・中毒を起こすこともあります

マカダミアナッツ

・腎不全を起こすこともあります

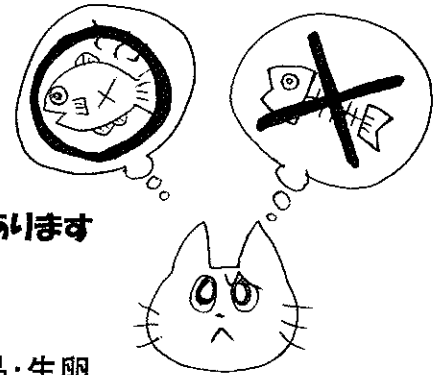
ぶどう、レーズン

・噛んだ時に、鋭角になりやすく、気道や食道にささってしまうことがあります

鳥の骨、魚の骨

・消化不良を起こす可能性があります

竹の子・しいたけ・こんにゃく・豆類・人間用の牛乳・人間用の乳製品・生卵



食べ物以外

・なめたり、噛んだりすると、中毒を起こすこともあります

ヒキガエル

・ユリ科

得に猫に有害とされ、少量でも毒性が高く腎臓への重大な影響をもたらします。

ユリ科の植物には全草、球根において毒性を含むものが多いので注意が必要です。

ユリ科には種類が多く、

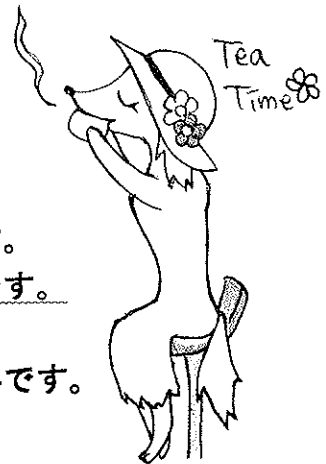
チューリップやヒヤシンス、スズラン、アスパラガス、タマネギなどもユリ科です。

・ツツジ科

レンゲツツジから取れる蜂蜜にも毒性がありますのでツツジ科全般要注意です。

・その他いろいろ...

アジサイ・アサガオ・オシロイバナ・菊・スイトピー・スズラン・ニチニチソウ・ヒアシンス・フジ・マリーゴールド・ラナンキュラス・リンドウなどあります。



拾い食いや草を食べる子はお散歩や庭に出す時、特に注意して見てあげてください。
お留守番をさせたり、部屋を自由にさせている時は
口が届くところには物を置かないようにしましょう。
『食べないだろう』と思って置きっぱなしにしていると大変な事になってからでは
後悔しても遅い場合があります。
特にゴミ箱など注意が必要です。何が入っているか飼い主でも分かりませんからね。

